

## 2. 新しい水質指標

国土交通省では、河川水質管理において、住民や利水者の河川水質・河川環境に対して多様化するニーズに応えるため、平成17年3月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」を発表した。この「河川水質管理の指標」(新しい水質指標)は、住民との協働による測定項目及び河川等管理者による測定項目からなり、平成17年度に全国規模で住民と協働で行う調査を試行し、平成18年より全ての一級河川を対象に本格的に実施している。

さらに、湖沼についても、平成22年3月に「今後の湖沼水質管理の指標について(案)」をとりまとめ、これに基づく調査を実施している。

### 2.1 新しい水質指標(河川)

#### (1)新しい水質指標(河川)とは

新しい水質指標(河川)とは、人と河川のふれあいや生態系への関心など、多様な視点で河川が捉えられるようになってきている現在の状況を鑑み、河川をBODだけでなく多様な視点で評価できるように検討された指標である。評価の視点は、

「人と河川の豊かなふれあいの確保」(水質に関係する分かりやすい指標(ゴミの量、透視度、川底の感触、水の臭い、糞便性大腸菌群数)により、評価します。

「豊かな生態系の確保」(水生生物の生息・生育・繁殖に関係する指標(呼吸に支障が無いこと、毒性が無いこと、生物が生息していること)により、評価します。

「利用しやすい水質の確保」(上水利用・農業用水・工業用水・水産用水の利用に関係する指標(トリハロメタン生成能、2-MIB、ジオスミン、 $\text{NH}_4\text{-N}$ )により評価します。

「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」(下流部の富栄養化や閉鎖性水域(ダム・湖沼・湾)の富栄養化への影響に関係する指標(T-N、T-P)により評価します。

の4つにわたり、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」以外の視点について評価項目と評価レベルが設定されている<sup>注17</sup>。また、4つの視点のうち

<sup>注17</sup> 一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では下流域への影

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、調査の一部は住民と河川管理者との協働により実施している。

新しい水質指標(河川)は、平成17年3月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」(国土交通省河川局河川環境課)<sup>注18</sup>としてとりまとめられ、これに基づく調査が、平成17年4月よりほぼ全ての一級水系の直轄区間を対象に実施されている。

## (2)実施水系・地点数

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」の平成26年の調査実施状況を表-27に示す。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、調査を実施した水系のうち、ほとんどの水系で住民との協働調査を実施している。住民との協働調査を実施している調査地点数は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」では204地点(全国301地点のうち)、「豊かな生態系の確保」では195地点(全国268地点のうち)である。

「利用しやすい水質の確保」では、該当する地点に限られるため<sup>注19</sup>、水系数・地点数ともに「人と河川の豊かなふれあいの確保」や「豊かな生態系の確保」よりも少ないが、全国125地点で実施された。

---

響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の視点では、評価項目や評価レベルは定めず、今後の課題としている。

<sup>注18</sup> 平成21年3月に「今後の河川水質管理の指標について(案)」を一部改訂し、平成21年度の調査より適用している。

[http://www.mlit.go.jp/river/shishin\\_guideline/kankyo/suishitsukanri/shihyou.pdf](http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/suishitsukanri/shihyou.pdf)

<sup>注19</sup> 「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としている。

表-27 調査を実施した水系数と地点数

地整局 開発局	水系数	人と河川の豊かな ふれあいの確保		豊かな生態系の確保		利用しやすい 水質の確保	
		水系数	地点数	水系数	地点数	水系数	地点数
北海道	13	13 (12)	27 (18)	13 (12)	25 (17)	6	12
東北	12	8 (7)	21 (14)	6 (6)	16 (13)	5	8
関東	8	8 (5)	50 (20)	8 (5)	40 (18)	6	26
北陸	12	7 (2)	12 (3)	9 (4)	15 (5)	2	6
中部	13	12 (10)	59 (37)	11 (10)	43 (37)	8	16
近畿	10	5 (5)	22 (21)	5 (5)	22 (21)	3	16
中国	13	12 (10)	44 (34)	11 (9)	37 (28)	8	23
四国	8	4 (4)	13 (13)	4 (4)	17 (13)	2	3
九州	20	18 (17)	53 (44)	18 (17)	53 (43)	12	15
全国	109	87 (72)	301 (204)	85 (72)	268 (195)	52	125

( )内は、住民と協働して調査を実施した水系数と地点数

### (3) 参加者数

住民との協働による測定を実施する「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点による調査では6,996人、「豊かな生態系の確保」の視点による調査では7,110人の住民に参加を得て実施した。どの地方でも子供(15歳以下)の割合が多かった(図-28)。

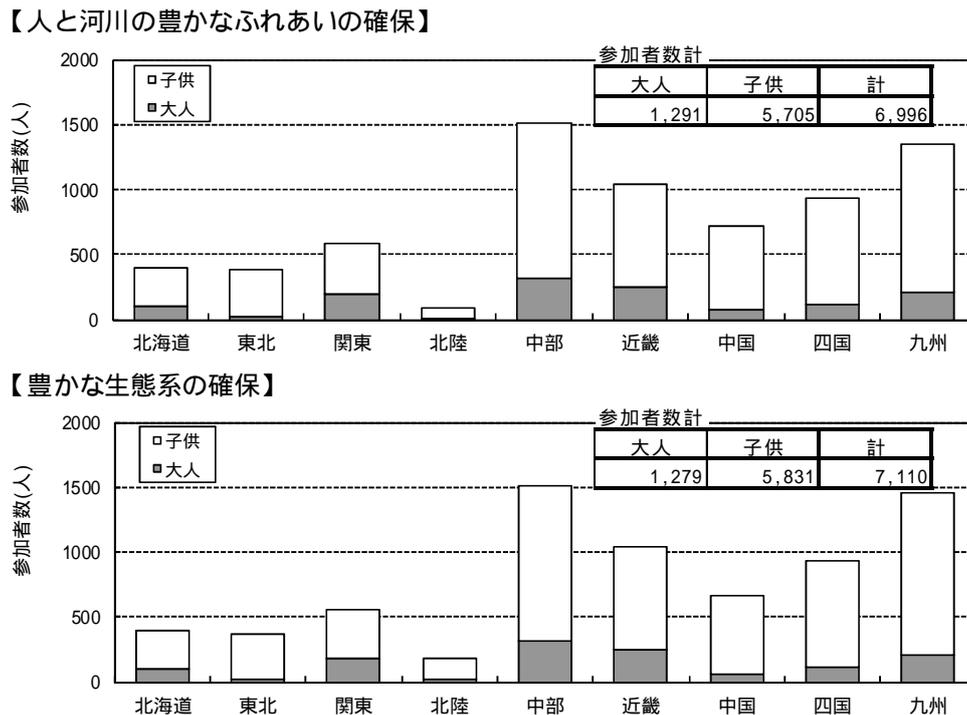


図-28 調査に参加した住民の数(延べ人数)

例えば、1人が2つの地点を調査した場合は、2人として集計している

「人と河川の豊かなふれあいの確保」の調査にあたって住民参加が多かった地点は、表-28のとおりである。

表-28 参加者数が特に多かった調査地点

順位	都道府県	河川名(水系名)/調査地点名	参加者数
1	三重県	雲出川(雲出川水系)/小戸木橋	239
2	大阪府	大和川(大和川水系)/河内橋	232
3	愛媛県	重信川(重信川水系)/中川原橋	213
4	大分県	乙津川(大野川水系)/水辺の楽校	172
5	秋田県	米代川(米代川水系)/能代市二ツ井町大林地区	150

表中の参加者数は、年間通した延べ人数。年間に複数回の調査を実施した調査地点がある。

#### (4) 調査結果

##### 新しい水質指標(河川)(案)による全国の調査地点の総合評価結果

平成25年に実施した新しい水質指標による調査結果を基に、「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」の3つの視点ごとに、全国の調査地点の総合的な評価<sup>注20</sup>を行い、年間の総合評価ランクを全国マップ(図-29(1)～図-29(3))に示した。

年間の総合評価ランクが最も高いAランク(青丸)の地点は、表-29に示すように、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点については約22%(65地点/301地点)、「豊かな生態系の確保」の視点については約57%(154地点/268地点)、「利用しやすい水質の確保」の視点については約74%(93地点/125地点)となった。

一方、年間の総合評価ランクが最も低いDランク(赤丸)の地点は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点については約4%(11地点/301地点)、「豊かな生態系の確保」の視点については約4%(12地点/268地点)となった。また、「利用しやすい水質の確保」では評価ランクが最も低いCランク(黄色丸)の地点は、約10%(12地点/125地点)となった。

個別の地点の総合評価結果は、表-30(1)～表-30(7)に示すとおりである。

表-29 新しい水質指標(河川)による年間の総合評価ランク別の地点数

	人と河川の 豊かなふれあい		豊かな生態系		利用しやすい水質	
	地点数	割合	地点数	割合	地点数	割合
Aランク	65 (43)	22%	154 (121)	57%	93	74%
Bランク	143 (98)	48%	84 (57)	31%	20	16%
Cランク	82 (56)	27%	18 (10)	7%	12	10%
Dランク	11 (7)	4%	12 (7)	4%		
計	301 (204)	100%	268 (195)	100%	125	100%

( )内は、住民と協働で調査した地点数。四捨五入による端数処理のため内訳の合計が100%にならないことがある。

注20 評価項目ごとにA～Dランクの4段階(「利用しやすい水質の確保」はA～Cランクの3段階)の評価ランクを決めた上で、まず調査回ごとに最も低い項目別評価ランクを、その地点のその調査時の総合評価ランクとした。次に、1年間の調査時の総合評価ランクのうち、「人と河川の豊かなふれあいの確保」では最頻出のランク、「豊かな生態系の確保」では最低ランク、「利用しやすい水質の確保」では95%値に該当するランクを、その地点の年間の総合評価ランクとした。評価方法の詳細は「今後の河川水質管理の指標について(案)」参照。





# 平成26年「利用しやすい水質の確保」調査結果

凡例	ランク	説明	地点数	割合
●	A	より利用しやすい	93	74%
●	B	利用しやすい	20	16%
●	C	利用するためには高度な処理が必要	12	10%
計			125	100%

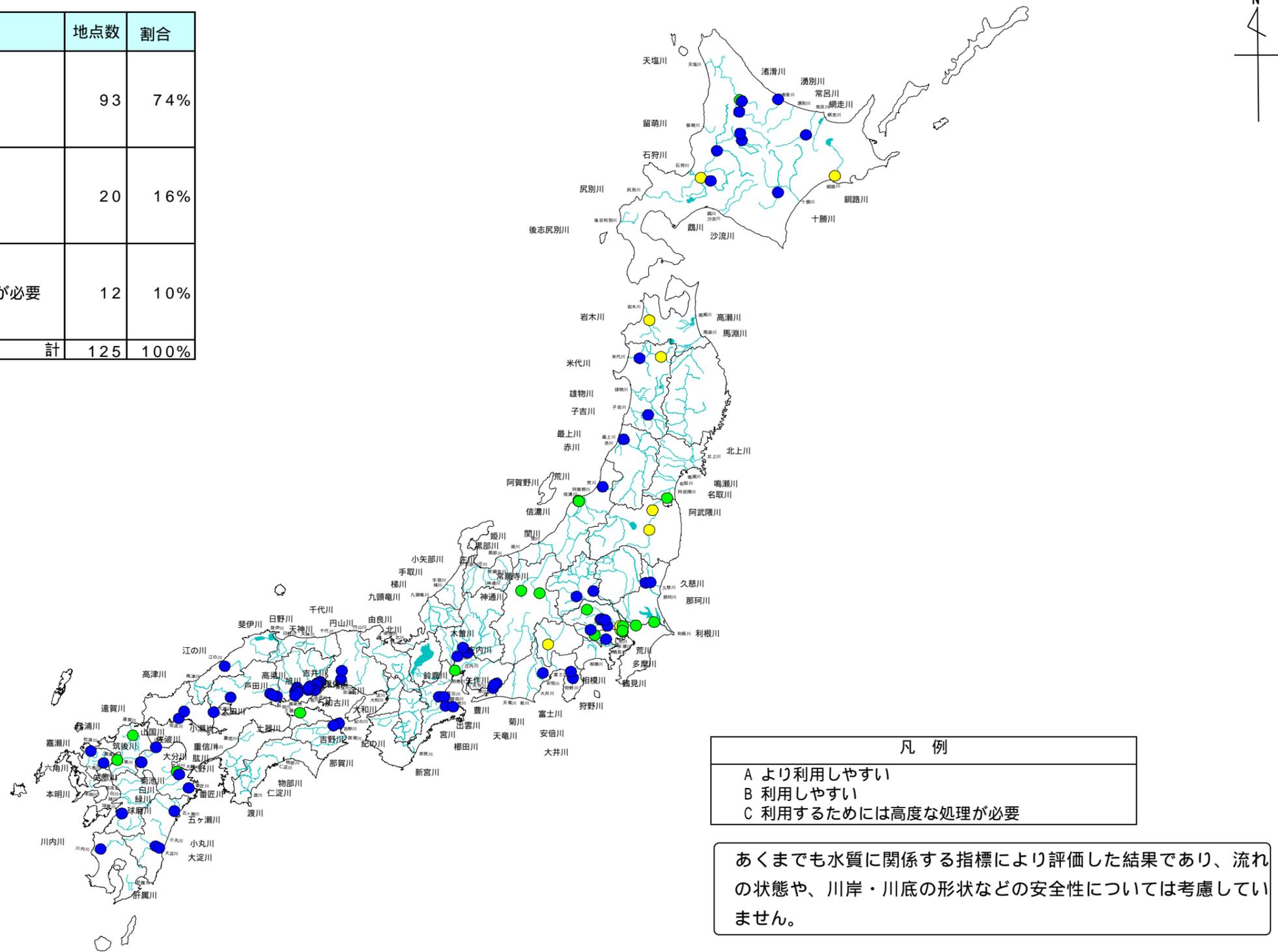


図-29(3) 平成26年「利用しやすい水質の確保」調査結果

表-30(1) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク			
				人と河川 の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しや すい 水質	
北海道	釧路川	釧路川	愛国浄水場取水口	-	-	C	
			標茶水辺の楽校	B	A	-	
	後志利別川	後志利別川	花石	A	-	-	
			兜野橋（河口）	B	A	-	
			今金橋	A	A	-	
			住吉	A	A	-	
	沙流川	沙流川	長知内橋	A	A	-	
	十勝川	札内川	札内橋	B	A	-	
			南帯橋	-	-	A	
		十勝川	十勝大橋	C	B	-	
	渚滑川	渚滑川	ウツツ橋	A	A	A	
	常呂川	常呂川	金比羅橋	-	-	A	
			若松橋	C	A	-	
	尻別川	尻別川	豊国橋下流(ランラン公園地先)	C	A	-	
			名駒	-	-	-	
	石狩川	雨竜川	沼田大橋上流	D	A	-	
			中島橋下流	B	-	-	
		空知川	空知大橋	-	-	A	
			空知大橋下流	B	A	-	
		石狩川	永山橋	B	A	A	
			納内橋上流	B	A	-	
		千歳川	新江別橋	-	-	C	
		忠別川	神楽岡公園	B	A	-	
			東神楽橋	-	-	A	
		豊平川	幌平橋下流	A	A	-	
		夕張川	馬追橋	-	-	A	
	天塩川	天塩川	土別橋上流	B	B	-	
			中土別橋	-	-	A	
			名寄大橋	-	-	B	
		名寄川	真勲別頭首工	-	-	A	
			日進橋上流	A	A	-	
			問寒別川	問寒別川kp8.6	B	A	-
		雄信内川	雄信内川kp2.0	B	A	-	
	鶴川	鶴川	穂別橋	A	A	-	
	網走川	網走川	大正橋	B	A	-	
	湧別川	湧別川	遠軽橋	B	A	-	
	留萌川	留萌川	橋橋	B	A	-	
			幌糠水辺の楽校	C	A	-	
	東北	阿武隈川	阿武隈川	阿久津	-	-	C
				丸森	-	-	B
				黒岩	-	-	C
				天神橋	C	-	-
		岩木川	岩木川	乾橋	-	-	C
				上岩木橋	-	-	-
		最上川	金山川	水辺の楽校	B	A	-
				砂越	-	-	A
			最上川	長井橋上流	C	A	-
平柳橋下流				B	B	-	
本合海				C	A	-	
鮭川				戸沢橋	B	A	-
丹生川		丹生川大橋	B	A	-		
立谷沢川		東雲橋	B	B	-		
赤川		赤川	羽黒橋	B	A	-	
馬淵川		馬淵川	水辺の楽校	D	-	-	
米代川		米代川	十二所	-	-	C	
			二ツ井	-	-	A	
			能代市二ツ井町大林地区	B	A	-	
			北秋田市栄地内	A	A	-	
北上川		北上川	金ヶ崎橋	B	-	-	
			紫波橋	C	A	-	
			朝日橋	-	-	-	
			藤橋	B	A	-	
			南大橋	B	-	-	
			北上大橋	B	-	-	
名取川		名取川	名取橋	-	-	-	
鳴瀬川		吉田川	高田橋	C	A	-	
雄物川		岩見川	豊成橋	A	A	-	
			雄物川	岳見橋	C	A	-
		雄物川	沼館橋	B	A	-	
		雄物川	雄物川橋	-	-	A	

表-30(2) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク						
				人と河川 の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しや すい 水質				
関東	久慈川	久慈川	富岡橋	-	-	A				
			山田川	東橋下流	C	B	-			
			里川	機初橋下流	C	A	-			
				水瀬大橋	A	A	-			
	荒川	越辺川	荒川	落合橋(越)	C	-	C			
				開平橋	C	-	A			
		荒川	荒川	久下橋	A	-	-			
				御成橋	B	-	-			
				治水橋	C	-	-			
				秋ヶ瀬橋堰(上)	C	-	A			
				新荒川大橋	C	D	-			
				正喜橋	A	-	B			
				平井大橋	D	C	-			
				高麗川	高麗川大橋	A	-	-		
				小畔川	とげ橋	B	-	C		
				都幾川	東松山橋	A	-	-		
		入間川	入間川	入間大橋	C	-	C			
				落合橋(入)	B	-	A			
	相模川	相模川	神川橋	B	B	-				
	多摩川	浅川	多摩川	高幡橋	B	B	-			
				鶴巻橋	B	A	-			
		多摩川	多摩川	永田橋	A	C	-			
				新二子橋	C	C	-			
				多摩水道橋	C	C	A			
				多摩川原橋	C	C	-			
				調布橋	A	B	A			
				拝島橋	B	A	B			
	鶴見川	鶴見川	亀の子橋	C	D	-				
	那珂川	那珂川	新那珂橋上流	A	A	-				
			那珂川大橋下流	A	A	-				
			野口	-	-	A				
	富士川	笛吹川	富士川	鶴飼橋	C	A	-			
				南部	A	A	-			
		富士川	富士川	富山橋	B	A	-			
				富士橋	-	-	C			
				富士川橋	A	C	-			
	利根川	綾瀬川	烏川	内匠橋	-	D	-			
				岩倉橋	B	B	A			
				岩鼻	-	-	-			
				高松	B	-	-			
		碓氷川	江戸川	江戸川	高松	B	A	A		
					関宿橋	-	-	-		
					江戸川水門(上)	-	-	-		
					新葛飾橋	-	-	B		
					東西線鉄橋下	-	-	-		
					野田橋	-	-	-		
					矢切取水場	-	-	B		
					流山橋	-	-	B		
					小貝川	小貝川	三谷橋	B	B	-
							中郷	C	-	-
		神流川	神流川	神流川橋	B	B	A			
				藤武橋	B	A	A			
		男鹿川	男鹿川未流	B	A	-				
中川		中川	高砂橋	-	D	-				
			潮止橋	-	D	-				
			八条橋	-	-	C				
			飯塚橋	-	-	C				
鏡川		岩鼻	B	B	A					
渡良瀬川		渡良瀬川	赤岩用水取水口	-	-	A				
			赤岩用水取水口(左岸)	B	B	-				
			葉鹿橋(右岸)	B	A	-				
利根運河		運河橋	C	-	-					
利根川		利根川	河口堰	-	B	-				
			金江津	-	B	-				
			取手	C	-	-				
			須賀	-	B	-				
			水郷大橋	C	B	B				
			銚子大橋	C	B	-				
			布川	C	B	B				
	木下		-	B	-					

表-30(3) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク			
				人と河川 の豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しや すい 水質	
関東	利根川	流水保全水路	ふれあい松戸川	C	-	-	
北陸	阿賀野川	阿賀川	馬越橋	-	-	-	
			馬越浄水場	-	-	-	
		阿賀野川	阿賀野川頭首工	-	-	-	
			馬下	-	-	-	
	関川	関川	今池橋	-	B	-	
	荒川	荒川	温泉橋	A	A	-	
			荒川橋	A	A	-	
			荒川取水堰	-	-	A	
	黒部川	黒部川	下黒部橋	B	A	-	
	小矢部川	小矢部川	国糸橋	D	C	-	
	庄川	庄川	大門大橋	C	A	-	
	常願寺川	常願寺川	常願寺大橋	A	A	-	
			立山橋	-	A	-	
	信濃川	魚野川	小出橋	C	B	-	
			犀川	-	-	B	
		信濃川	旭橋	D	B	-	
			十日町橋	B	B	-	
			信濃川取水塔	-	-	B	
			長生橋	C	B	-	
			平成大橋	-	-	B	
		信濃川下流	信濃川取水塔	-	-	B	
	千曲川	屋島橋	A	A	-		
		生田	-	-	B		
神通川	神通川	神通大橋	B	C	-		
姫川	姫川	濁澄川合流点	-	A	-		
中部	安倍川	安倍川	曙橋	-	-	A	
			南安倍川橋	C	A	-	
			藁科川	B	A	-	
	雲出川	雲出川	雲出橋	C	-	A	
			雲出川ラブリバー公園	C	D	-	
			小戸木橋	B	B	-	
			小野江頭首工	C	A	-	
			大仰橋	A	A	A	
			小川橋	-	-	-	
	内部川	内部川	新矢矧橋	C	A	-	
	菊川	菊川	高田橋	C	C	-	
	宮川	宮川	岩出	A	-	-	
			宮川ラブリバー公園	A	B	-	
			昼田地区	B	A	-	
			度会橋	B	B	A	
			五十鈴川	C	A	-	
	榊田川	榊田川	榊尾橋	B	B	-	
			榊田橋	B	B	-	
			庄町	B	B	-	
			両郡橋	B	B	A	
	狩野川	長野川	入田橋	-	A	-	
			黄瀬川	C	-	-	
			柿田川	-	-	A	
			狩野川	黒瀬橋	-	A	-
				千歳橋	B	-	-
		大仁橋	B	-	A		
	庄内川	庄内川	来光川	-	-	-	
			蛇ヶ橋	-	-	-	
			多治見橋	-	-	-	
			大留橋	-	-	-	
			天ヶ橋	-	-	-	
		枇杷島橋	-	-	-		
	矢田川	矢田川	天神橋	-	-	-	
大井川	大井川	谷口橋	C	A	-		
天竜川	天竜川	虻川	新虻川橋	A	A	-	
		横川川	伊那富橋	B	A	-	
		三峰川	竜東橋	B	A	-	
		松川	上溝橋	B	A	-	
		前沢川	新前沢橋	A	A	-	
		太田切橋	太田原橋	A	A	-	
		天竜川	伊那路橋	B	A	-	
			駒見大橋	B	A	-	
			天の中川橋	C	A	-	
			天竜橋	B	A	-	
	平成大橋	B	B	-			

表-30(4) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク					
				人と河川 の豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しや すい 水質			
中部	天竜川	天竜川	明神橋	B	A	-			
		豊川	豊川	吉田大橋	-	B	-		
	江島			C	B	-			
	江島橋			-	-	A			
	石田			-	-	A			
	当古橋			B	B	A			
	樽船橋			C	-	-			
	木曾川	伊自良川	伊自良川	竹橋	B	-	-		
				杭瀬川	高淵橋	B	-	-	
				根尾川	山口	A	-	-	
				多度川	上之郷	-	-	-	
		長良川	長良川	伊勢大橋	-	-	B		
				鏡島大橋	A	-	-		
				長良大橋	B	-	-		
				東海大橋	-	-	-		
				南濃大橋	-	-	-		
				藍川橋	A	-	A		
				犬山橋	B	-	A		
		木曾川	木曾川	東海大橋	-	-	-		
				濃尾大橋	B	-	A		
				木曾川橋	B	-	-		
				揖斐川	揖斐川	伊勢大橋	-	-	-
						岡島橋	A	-	-
						海津橋	-	-	-
	鷺田橋	A	-			-			
	福岡大橋	福岡大橋	福岡大橋	-	-	-			
			矢作川	矢作川	岩津天神橋	-	B	A	
					中畑橋	-	-	-	
					藤井	-	B	-	
					米津	-	-	-	
					明治頭首工	B	B	-	
	明治用水頭首工	-			-	A			
	鈴鹿川	安楽川	安楽川	中富田	A	-	-		
				和泉橋	D	-	-		
		内部川	内部川	河原田橋	B	A	-		
				鈴鹿川	鈴鹿川	勤進橋	B	B	-
		亀山橋	B			B	-		
		高岡橋	B			-	-		
		山下橋	B			A	-		
		小倉橋	C			B	-		
		庄野橋	A			D	-		
		鈴国橋	A	-	-				
	近畿	加古川	加古川	国包	-	-	A		
池尻				-	-	A			
九頭竜川		九頭竜川	中角	-	-	-			
			天池河川公園前	B	A	-			
			福井大橋下流	B	A	-			
			鳴鹿大橋上流	C	C	-			
			和泉支所前	A	A	-			
			前坂キャンプ場（前坂家族旅行村）	A	A	-			
新宮川		相野谷川	相野谷川	相野谷橋下流	A	A	-		
				大和川	大和川	河内橋	C	D	-
御幸大橋		C	C			-			
浅香		C	D			-			
北川		北川	北川	高塚	-	-	-		
				高塚橋	B	A	-		
				三宅橋	B	A	-		
				天徳寺橋	B	A	-		
揖保川		揖保川	揖保川	山崎	-	-	A		
				龍野	-	-	A		
淀川		宇治川	宇治川	宇治橋	B	B	A		
				宇治川御幸橋	-	-	A		
		桂川	桂川	宮前橋	-	-	B		
				渡月橋	C	B	A		
		瀬田川	瀬田川	信楽川・瀬田川合流点	B	B	A		
				猪名川	猪名川	こんにやく橋	B	B	-
		銀橋	-			-	A		
		桑津橋	B			B	-		
軍行橋		-	-			A			

表-30(5) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク				
				人と河川 の豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しや すい 水質		
近畿	淀川	猪名川	池田床固下流	B	B	-		
			新服部橋	B	A	-		
		木津川	加茂恭仁大橋	-	-	A		
			恭仁大橋	C	B	-		
			木津川御幸橋	-	-	A		
		野洲川	野洲川大橋	B	B	A		
		淀川	菅原城北大橋	-	-	A		
			鳥飼大橋	C	B	-		
			鳥飼大橋（左岸）	-	-	A		
			乙井手堰	-	-	A		
中国	旭川	旭川	合同堰	-	-	A		
			三野	B	B	-		
			新大原橋	D	B	-		
			相生橋	-	-	A		
			山手橋	B	B	-		
			芦田川	芦田川	小水呑橋	B	A	-
					上戸手	-	-	A
					大井手頭首工	-	B	-
					中津原	-	-	A
					中津原取水堰	B	-	-
	府中新橋	A			B	-		
	府中大橋	-			-	A		
	府中大渡橋	A			-	-		
	福戸橋	B			-	-		
	高屋川	高屋川			構尾	-	-	-
			掛の橋	B	-	-		
			出原橋	B	-	-		
			川北	-	-	-		
			鶴ヶ橋	C	-	-		
			白鷺橋	-	C	-		
	砂川	砂川	中須大橋	C	-	-		
			瀬戸川	C	-	-		
	吉井川	吉井川	鶴越堰	-	-	A		
			三削橋	-	-	A		
			熊山橋	B	B	A		
			坂根堰	-	-	A		
			備前大橋	B	B	A		
			和気橋	C	B	A		
			金剛川	宮橋	D	B	A	
			江の川	江の川	桜江大橋	-	-	A
					祝橋下流	A	B	-
					川戸	A	B	-
	川本	A			A	-		
	都賀本郷	A			A	-		
	高津川	高津川	神田	A	A	-		
	高梁川	高梁川	露橋	-	-	A		
			笠井堰	-	-	A		
			川辺橋	C	B	A		
			湛井堰	B	B	A		
			小田川	福松橋	D	B	A	
	佐波川	佐波川	漆尾	B	A	A		
			新橋	A	A	A		
	小瀬川	小瀬川	両国橋	B	A	A		
	千代川	千代川	源太	-	-	-		
			行徳	-	-	-		
			佐貫	-	-	-		
			袋河原	-	-	-		
			袋川	袋川	大杓	-	-	-
					町屋	-	-	-
	太田川	太田川	壬辰橋	B	B	-		
			矢口川上流	B	B	A		
	天神川	国府川	高城水辺の楽校	B	A	-		
			国府川（福光橋下流600m）	C	A	-		
		三徳川	三徳川	大瀬水辺の楽校	B	A	-	
				小鴨川	A	A	-	
		小鴨川	小鴨川	下大江親水公園	A	A	-	
				小鴨橋	C	A	-	
	天神川	天神川	上小鴨水辺の楽校	C	A	-		
			小田橋	A	A	-		
			竹田橋	A	A	-		

表-30(6) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川 の豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しや すい 水質
中国	日野川	秋原川	日南湖湖畔	A	A	-
		日野川	鬼守橋	B	A	-
			車尾堰	A	A	-
			伯耆橋	C	B	-
		法勝寺川	五ヶ堰下流	B	A	-
斐伊川	斐伊川	木次町水辺の楽校	D	-	-	
四国	吉野川	鮎喰川	鮎喰	-	A	-
		吉野川	角の浦大橋上流	B	A	-
			学島橋下流	B	A	-
			高瀬橋	-	-	A
			第十堰貯水池内	-	A	-
			脇町潜水橋	-	-	-
		旧吉野川	牛屋島橋	-	-	-
			市場橋	-	-	A
			大津橋	-	A	-
		穴吹川	穴吹	-	-	-
		今切川	加賀須野橋	-	A	-
			鯛浜堰上流	-	-	-
		貞光川	貞光	-	-	-
	重信川	重信川	山之内	A	A	-
			重信橋	C	A	-
			出合橋	C	C	-
			中川原橋	C	D	-
			拝志大橋	B	A	-
	渡川	後川	後川橋	-	-	-
		四万十川	具同	-	-	-
		中筋川	九樹橋	-	-	-
	土器川	土器川	丸亀橋	-	-	B
			丸亀大橋	C	A	-
			高速道路橋	A	C	-
			常包橋	-	-	-
			長炭橋	C	B	-
		菰川橋	B	B	-	
物部川	日ノ御子川	日ノ御子河川公園キャンプ場	A	A	-	
	物部川	統合堰	B	A	-	
九州	遠賀川	遠賀川	溝堀	B	D	-
		笹尾川	笹尾川水辺の楽校	B	C	-
		彦山川	中島	-	-	B
	嘉瀬川	嘉瀬川	嘉瀬橋	-	-	A
		肝属川	始良川	鶴峰橋	B	A
	肝属川		鹿屋小学校前	C	D	-
	高山川		大脇床止	B	A	-
	球磨川	芋川	吐合橋	A	A	-
			球磨川	横石	-	-
			球磨大橋上流	B	A	-
			中川原公園	B	A	-
		山田川	五十鈴橋	B	A	-
		川辺川	構造改善センター横	A	A	-
	五ヶ瀬川	油谷川	油谷川合流前	A	A	-
			五ヶ瀬川	三輪	B	A
			松山橋	-	-	-
		祝子川	桑平橋	A	A	-
		小川	永代橋	C	A	-
		大瀬川	大瀬橋	B	A	-
	友内川	リバーバル	-	B	-	
	山国川	山国川	下宮永	B	B	-
			下唐原	B	B	A
			柿坂	B	A	-
			上曾木	B	A	-
			城井橋	B	A	-
	小丸川	小丸川	高城橋	C	A	-
			竹鳩橋	C	A	-
	松浦川	厳木川	厳木コミュニティーセンター	B	A	-
			中山	C	A	-
			町切堰	B	A	-
		松浦川	久里橋	-	-	A
		大黒堰	C	B	-	
		桃川親水公園	B	B	-	
川内川	針持川	新古川橋	B	A	-	
	川内川	長崎堤防上流	B	B	-	

表-30(7) 新しい水質指標（河川）による年間の総合評価結果一覧

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間の総合評価ランク		
				人と河川 の 豊かな ふれあい	豊かな 生態系	利用しや すい 水質
九州	川内川	川内川	斧淵	-	-	A
			麓橋付近	B	A	-
	大分川	大分川	府内大橋	B	A	B
	大野川	大野川	乙津川	C	B	-
			白滝橋	B	A	A
	大淀川	大淀川	浦之名川合流点	B	A	-
			相生橋	-	-	A
			本庄橋	B	A	-
	筑後川	筑後川	本庄川	-	-	A
			三隈大橋	-	-	A
			瀬ノ下	-	-	B
			台霧の瀬	B	B	-
			大山水辺プラザ	B	A	-
	白川	白川	島内堰	-	-	A
			子飼橋	B	B	-
	番匠川	番匠川	代継橋	D	B	-
			笠掛水辺の楽校	A	-	-
	本明川	本明川	上岡	C	A	-
			森下橋	A	-	-
			池船スポーツ公園	B	B	-
			番匠橋	-	-	A
			番匠公園	A	A	-
			旭町	-	-	-
	矢部川	矢部川	公園橋	C	C	-
			四面橋	C	C	-
			鉄道橋	-	B	-
	緑川	緑川	裏山橋	C	A	-
			船小屋	C	A	-
	六角川	六角川	中甲橋	B	A	-
			津志田	B	A	-
			牛津川	C	B	-
	六角川	六角川	妙見橋	C	B	-
			武雄川	C	C	-
六角川	六角川	溝ノ上	C	B	-	

コラム：川の魅力アップ ~新しい水質指標での評価結果より~

新しい水質指標による評価は、平成17年より毎年、数多くの調査地点で行われてきました。

調査当初と現在の評価を比較すると、評価が良くなっている調査地点も多数あります（表 ）。「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、平成17年と比べて2ランクアップした調査地点が全国で4地点ありました（図 ）。

今後も引き続き調査を続けることで、調査地点の水質の状況が経年的に比較できます。結果を活用して評価ランクが下がってしまっている原因を確認できれば、更なる水質改善に繋がると考えられます。

表 は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」のいずれかの視点について平成17年と平成26年に同じ調査地点で実施されているものを対象に整理しました。

ランク変動は、年間の総合評価ランクを数値（A=4、B=3、C=2、D=1）に置き換えて平成17年からの変動を表しています（例：H17年D H26年Aの場合は3ランクアップ）。

表 の凡例は、下図の通りです。

【凡例】

年間評価ランク： Aランク、 Bランク、 Cランク、 Dランク

ランク変動：(ランクアップ) ↑3、↑2、 1

:( 変動なし ) ⇄0

:(ランクダウン) ↓-1、↓-2、↓-3

表 年間評価ランクの変動状況一覧表(1/2)

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間評価ランク						ランク変動				
				ふれあい		生態系		利用		ふれあい	生態系	利用		
				H17年	H26年	H17年	H26年	H17年	H26年					
北海道	釧路川	釧路川	愛国浄水場取水口	-	-	-	-	A	C	-	-	-	-2	
			沙流川	沙流川	長和内橋	B	A	B	A	-	-	1	1	-
	十勝川	札内川	札内橋	C	B	A	A	-	-	1	0	-	0	
			南帯橋	-	-	-	-	A	A	-	-	-	-	0
	十勝川	十勝川	十勝大橋	C	C	B	B	-	-	0	0	-	-	
			渚滑川	渚滑川	ウツツ橋	-	A	A	A	A	A	-	0	0
	石狩川	石狩川	永山橋	-	B	-	A	A	A	-	-	-	-	0
			豊平川	幌平橋下流	A	A	A	A	A	-	0	0	-	-
	天塩川	天塩川	土別橋上流	B	B	C	B	-	-	0	1	-	-	
			名寄川	真勲別頭首工	-	-	-	-	A	A	-	-	-	-
	鶴川	鶴川	穂別橋	B	A	A	A	-	-	1	0	-	-	
			網走川	網走川	大正橋	B	B	A	A	-	-	0	0	-
	東北	阿武隈川	阿武隈川	阿久津	-	-	-	-	B	C	-	-	-	-1
				丸森	-	-	-	-	B	B	-	-	-	-
黒岩				-	-	-	-	B	C	-	-	-	-	-1
天神橋				B	C	-	-	-	-	-	-	-1	-	-
赤川		赤川	羽黒橋	C	B	A	A	A	-	1	0	-	-	
			北上川	北上川	紫波橋	B	C	A	A	-	-	-1	0	-
北上川		北上川	南大橋	C	B	A	-	-	-	-	1	-	-	
	鳴瀬川		吉田川	高田橋	-	C	B	A	-	-	-	1	-	
関東	久慈川	久慈川	富岡橋	B	-	B	-	A	A	-	-	-	0	
			荒川	荒川	久下橋	C	A	A	-	C	-	2	-	-
	荒川	荒川	新荒川大橋	C	C	D	D	-	-	0	0	-	-	
			都幾川	東松山橋	B	A	B	-	A	-	1	-	-	-
	入間川	入間川	入間大橋	-	C	-	-	B	C	-	-	-	-1	
			落合橋(入)	-	B	-	-	A	A	-	-	-	-	0
	多摩川	多摩川	永田橋	B	A	-	C	-	-	-	1	-	-	
			新二子橋	B	C	-	C	-	-	-	-	-1	-	-
			多摩水道橋	B	C	-	C	-	A	-	-	-1	-	-
			多摩川原橋	B	C	-	C	-	-	-	-	-	-	-
	鶴見川	鶴見川	亀の子橋	C	C	-	D	-	-	-	0	-	-	
	那珂川	那珂川	野口	A	-	A	-	A	A	-	-	-	0	
	富士川	富士川	富士橋	-	-	-	-	C	C	-	-	-	0	
	利根川	利根川	利根川	岩倉橋	B	B	B	B	B	A	0	0	1	
				高松	C	B	B	-	B	-	1	-	-	-
		江戸川	江戸川	新葛飾橋	-	-	-	-	B	B	-	-	-	0
				流山橋	-	-	-	-	B	B	-	-	-	-
小貝川		小貝川	三谷橋	C	B	B	B	-	-	0	0	-	-	
			神流川	神流川橋	B	B	B	B	A	A	0	0	0	
神流川		神流川	藤武橋	A	B	B	A	-	-	-1	1	-		
男鹿川	男鹿川	末流	B	B	A	A	-	-	0	0	-	-		
		渡良瀬川	赤岩用水取水口	C	-	A	-	A	A	-	-	-	0	
利根川	利根川	布川	-	C	-	B	B	B	-	-	-	0		
北陸	荒川	荒川	温泉橋	-	A	A	A	-	-	-	0	-	-	
			荒川橋	C	A	-	A	-	-	2	-	-	-	
			荒川取水堰	-	-	-	-	A	A	-	-	-	-	0
	黒部川	黒部川	下黒部橋	C	B	A	A	-	-	1	0	-		
	庄川	庄川	大門大橋	A	C	A	A	-	-	-2	0	-		
	常願寺川	常願寺川	立山橋	B	-	A	A	-	-	-	0	-		
	信濃川	魚野川	小出橋	C	C	A	B	-	-	0	-1	-		
			犀川	睦橋	-	-	-	-	C	B	-	-	-	1
		信濃川	信濃川	十日町橋	C	B	-	B	-	-	1	-	-	
				長生橋	C	C	-	B	-	-	0	-	-	-
	神通川	神通川	神通大橋	B	B	B	C	-	-	0	-1	-		
中部	菊川	菊川	高田橋	-	C	A	C	-	-	-	-2	-		
			宮川	宮川	度会橋	B	B	A	B	-	A	0	-1	
	柳田川	柳田川	柳田橋	B	B	B	B	-	-	0	0	-		
			両郡橋	C	B	D	B	-	A	1	2	-		
	木曾川	長良川	藍川橋	B	A	-	-	A	A	1	-	0		
			木曾川	木曾川橋	A	B	-	-	-	-	-1	-	-	
	矢作川	矢作川	明治頭首工	-	B	B	B	-	-	-	0	-		
	鈴鹿川	内部川	河原田橋	-	B	B	A	-	-	-	1	-		
			鈴鹿川	勤進橋	-	B	B	B	-	-	-	0	-	
			庄野橋	B	A	B	D	-	-	1	-2	-		
鈴鹿川	鈴鹿川	鈴鹿橋	C	A	B	-	-	2	-	-				
近畿	加古川	加古川	池尻	-	-	-	-	A	A	-	-	-	0	
			大和川	大和川	河内橋	-	C	C	D	-	-	-	-1	-

表 年間評価ランクの変動状況一覧表(2/2)

地整局 開発局	水系名	河川名	地点名	年間評価ランク						ランク変動						
				ふれあい		生態系		利用		ふれあい	生態系	利用				
				H17年	H26年	H17年	H26年	H17年	H26年							
近畿	北川	北川	高塚橋	B	B	B	A	-	-	⇒	0	↗	1	-		
	揖保川	揖保川	龍野	C	-	B	-	A	A	-	-	-	-	⇒	0	
	淀川	宇治川	宇治橋	B	B	B	B	-	A	⇒	0	⇒	0	-		
			宇治川御幸橋	-	-	-	-	B	A	-	-	-	-	↘	1	
	桂川	宮前橋	渡月橋	B	C	B	B	-	A	⇒	-1	⇒	0	-		
			桑津橋	A	B	B	B	-	-	⇒	-1	⇒	0	-		
	服部川	新服部橋	C	B	B	A	-	-	⇒	1	⇒	1	-			
	木津川	木津川御幸橋	-	-	-	-	C	A	-	-	↑	2	-			
	野洲川	野洲川大橋	B	B	C	B	B	A	⇒	0	⇒	1	↗	1		
	淀川	鳥飼大橋	C	C	C	B	C	-	⇒	0	⇒	1	-			
中国	旭川	旭川	乙井手堰	B	-	B	-	A	A	-	-	-	⇒	0		
	吉井川	吉井川	熊山橋	B	B	B	B	A	A	⇒	0	⇒	0	-		
	江の川	江の川	桜江大橋	-	-	A	-	A	A	-	-	-	⇒	0		
	高津川	高津川	神田	B	A	A	A	-	-	⇒	1	⇒	0	-		
	高梁川	高梁川	湛井堰	B	B	B	B	A	A	⇒	0	⇒	0	-		
	佐波川	佐波川	新橋	B	A	B	A	-	A	⇒	1	↗	1	-		
	小瀬川	小瀬川	両国橋	B	B	A	A	-	A	⇒	0	⇒	0	-		
	太田川	太田川	壬辰橋	B	B	A	B	-	-	⇒	0	⇒	-1	-		
			矢口川上流	-	B	B	B	A	A	-	-	⇒	0	⇒	0	
	四国	吉野川	吉野川	高瀬橋	A	-	-	-	B	A	-	-	-	⇒	1	
旧吉野川				C	-	-	-	C	A	-	-	-	↑	2		
重信川		重信川	重信橋	D	C	C	A	-	-	⇒	1	↑	2	-		
			出合橋	C	C	C	C	B	-	⇒	0	⇒	0	-		
			中川原橋	C	C	D	D	-	-	⇒	0	⇒	0	-		
			拝志大橋	B	B	A	A	-	-	⇒	0	⇒	0	-		
土器川		土器川	丸亀橋	C	-	C	-	B	B	-	-	-	-	⇒	0	
			被川橋	B	B	A	B	-	-	⇒	0	⇒	-1	-		
九州	遠賀川	遠賀川	溝堀	C	B	C	D	-	-	⇒	1	↗	-1	-		
			彦山川	-	-	-	-	C	B	-	-	-	-	⇒	1	
	肝属川	肝属川	鹿屋小学校前	B	C	C	D	-	-	⇒	-1	⇒	-1	-		
			五ヶ瀬川	-	B	B	A	-	A	-	-	⇒	-2	⇒	1	
	大瀬川	大瀬川	大瀬橋	C	B	A	A	-	-	⇒	1	⇒	0	-		
			下宮永	A	B	B	B	-	-	⇒	-1	⇒	0	-		
			柿坂	A	B	-	A	-	-	⇒	-1	⇒	-	-		
			上曾木	A	B	-	A	-	-	⇒	-1	⇒	-	-		
	城井橋	城井橋	城井橋	A	B	A	A	-	-	⇒	-1	⇒	0	-		
			高城橋	C	C	A	A	-	-	⇒	0	⇒	0	-		
	松浦川	松浦川	久里橋	-	-	-	-	A	A	-	-	-	-	⇒	0	
	川内川	川内川	斧刈	-	-	B	-	A	A	-	-	-	-	⇒	0	
	大分川	大分川	府内大橋	B	B	B	A	A	B	⇒	0	↗	1	↘	-1	
	大野川	乙津川	水辺の楽校	C	C	C	B	-	-	⇒	0	⇒	1	-		
			白滝橋	B	B	B	A	A	A	⇒	0	⇒	1	⇒	0	
	筑後川	筑後川	三隈大橋	B	-	-	-	A	A	A	-	-	-	-	⇒	0
			瀬ノ下	C	-	A	-	B	B	-	-	-	-	-	⇒	0
			台霧の瀬	-	B	B	B	-	-	-	-	⇒	0	-	-	
			島内堰	B	-	A	-	A	A	-	-	-	-	-	⇒	0
	白川	白川	子飼橋	B	B	B	B	-	-	⇒	0	⇒	0	-		
代継橋			B	D	B	B	-	-	⇒	-2	⇒	0	-			
番匠川	番匠川	上岡	A	C	-	A	-	-	⇒	-2	⇒	-	-			
		池船スポーツ公園	B	B	-	B	-	-	⇒	0	-	-	-			
本明川	本明川	鉄道橋	B	-	A	B	-	-	-	-	-	-	⇒	-1		
矢部川	矢部川	船小屋	B	C	B	A	-	-	⇒	-1	⇒	1	-			
緑川	緑川	中甲橋	D	B	A	A	-	-	↑	2	⇒	0	-			
六角川	牛津川	妙見橋	C	C	B	B	-	-	⇒	0	⇒	0	-			



荒川 【荒川橋】

調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	C	★	★	★	★	★
H26年	A	-	★	-	-	★

鈴鹿川 【鈴国橋】

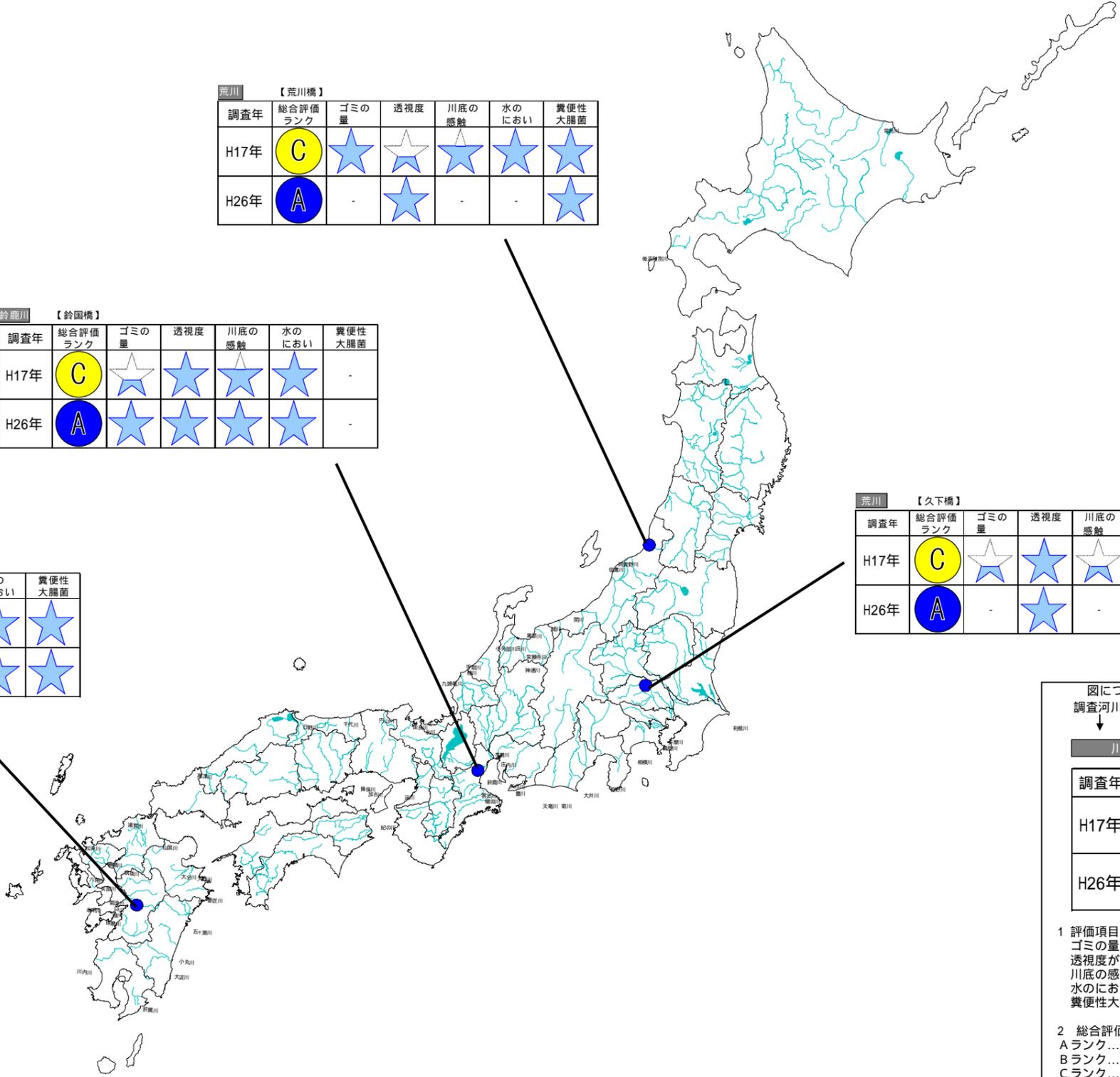
調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	C	★	★	★	★	-
H26年	A	★	★	★	★	-

荒川 【久下橋】

調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	C	★	★	★	★	★
H26年	A	-	★	-	-	★

緑川 【中甲橋】

調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	D	★	★	★	★	★
H26年	B	★	★	★	★	★



図について  
調査河川名 調査地点名

川 【 橋 】

調査年	総合評価 ランク	ゴミの 量	透視度	川底の 感触	水の におい	糞便性 大腸菌
H17年	総合評価 ランク( 2 )	ランク評価( 3 )				
H26年						

← 評価項目 ( 1 )

1 評価項目  
 ゴミの量が少ない  
 透視度が高い  
 川底の感触が不快ではない  
 水においが不快ではない  
 糞便性大腸菌群数が少ない

3 ランク評価

Aランク	Bランク	Cランク	Dランク
★	★	★	★

2 総合評価ランク  
 Aランク...顔を川の水につけやすい  
 Bランク...川の中に入って遊びやすい  
 Cランク...川の中には入れないが、川に近づくことができる  
 Dランク...川の水に魅力がなく、川に近づきにくい

図 「人と河川の豊かなふれあいの確保」評価ランクの平成17年から平成26年の変化(2ランクアップの調査地点)

水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川との比較

平成26年の各河川における水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川について、新しい水質指標により評価した結果を表-31(1)、表-31(2)に示した。

良好な河川について新しい水質指標により測定された河川についてみると、「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点ではゴミの量、透視度、川底の感触、水のおいの評価が低い地点もみられるが、他の項目はAランクとなっており、BOD以外の視点からも概ね良好な河川であることが分かった。「豊かな生態系の確保」の視点、「利用しやすい水質の確保」の視点では全ての評価項目がAランクとなっており、BOD以外の視点からも良好な河川であった。

表-31(1) 水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川の新しい水質指標による評価（平成26年）

地方名 / 河川名 (水系名)	都道府県名	BOD (mg/ )		新しい水質指標による評価												
		平均値	(75%値)	人と河川の豊かなふれあいの確保					豊かな生態系の確保			利用しやすい水質の確保				
				ゴミの量が少ない	透視度が高い	川底の感触が不快ではない	水のおいが不快ではない	糞便性大腸菌群数が少ない	DOが多い	NH4-Nが少ない	きれいな水にすむ生物が多い	トリハロメタン生成能が少ない	2-MIBが少ない	ジオスミンが少ない	NH4-Nが少ない	
北海道 / 尻別川 (尻別川水系)	北海道	0.5	(0.5)	★	★	★	★	★	★	★	★	未測定				★
(豊国橋下流)				(豊国橋下流)			(名駒)									
北海道 / 後志利別川 (後志利別川水系)	北海道			★	★	★	★	★	★	★	★	未測定	★	★	★	★
(花石、兜野橋河口、今金橋、住吉の平均値)				(花石、兜野橋河口、今金橋、住吉の平均値)			(花石、今金橋、住吉の平均値)									
北海道 / 沙流川 (沙流川水系)	北海道			★	★	★	★	★	★	★	★	未測定				
(長知内橋)				(長知内橋)												
東北 / 荒川 (阿武隈川水系)	福島	未測定					未測定			未測定						
中部 / 安倍川 (安倍川水系)	静岡	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		
(南安倍川橋)				(南安倍川橋)			(曙橋)									
近畿 / 熊野川 (新宮川水系)	和歌山	未測定					未測定			未測定						

『人と河川の豊かなふれあいの確保』				『豊かな生態系の確保』				『利用しやすい水質の確保』		
Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

新しい水質指標による評価について

それぞれの項目について、Aが最も良い評価ランクです。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、河川水質を親水性や景観の観点から調査した結果です。また、「豊かな生態系の確保」では、河川水質を水生生物の生息環境の観点、「利用しやすい水質の確保」では、河川水質を水道水への利用のしやすさの観点から調査した結果です。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」と「豊かな生態系の確保」では、地域住民と河川管理者が協働して調査を実施しています（一部の水質項目は河川管理者のみで実施しています）。

河川の水質を評価したものであり、その地点への近づき易さや河川形態などは評価の対象となっていません。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、においや感触など、個人差が生じる項目も含んだ結果です。

「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としました。

表-31(2) 水質調査地点の平均的な水質（BOD値）が良好な河川の新しい水質指標による評価（平成26年）

地方名/河川名 (水系名)	都道府県名	BOD (mg/ )		新しい水質指標による評価															
		平均値	(75%値)	人と河川の豊かなふれあいの確保					豊かな生態系の確保			利用しやすい水質の確保							
				ゴミの量が少ない	透視度が高い	川底の感触が不快ではない	水のおいが不快ではない	糞便性大腸菌数が少ない	DOが多い	NH4-Nが少ない	きれいな水にすむ生物が多い	トリハロメタン生成能が少ない	2-MIBが少ない	ジオスミンが少ない	NH4-Nが少ない				
近畿/北川 (北川水系)	福井			★	★	★	★	★	★	★	★	未測定				★			
四国/仁淀川 (仁淀川水系)	高知			未測定					未測定			未測定							
四国/吉野川 (吉野川水系)	徳島			★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	(高瀬橋)			
九州/川辺川 (球磨川水系)	熊本	0.5	(0.5)	★	★	★	★	★	★	★	★	未測定							
九州/本庄川 (大淀川水系)	宮崎			未測定					未測定			★	★	★	★	(本庄橋)			
九州/小丸川 (小丸川水系)	宮崎			★	★	★	★	★	★	★	★	未測定							
九州/五ヶ瀬川 (五ヶ瀬川水系)	宮崎			★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	(三輪)			

『人と河川の豊かなふれあいの確保』				『豊かな生態系の確保』				『利用しやすい水質の確保』		
Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	Aランク	Bランク	Cランク
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

新しい水質指標による評価について  
それぞれの項目について、Aが最も良い評価ランクです。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、河川水質を親水性や景観の観点から調査した結果です。また、「豊かな生態系の確保」では、河川水質を水生生物の生息環境の観点、「利用しやすい水質の確保」では、河川水質を水道水への利用のしやすさの観点から調査した結果です。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」と「豊かな生態系の確保」では、地域住民と河川管理者が協働して調査を実施しています（一部の水質項目は河川管理者のみで実施しています）。河川の水質を評価したものであり、その地点への近づき易さや河川形態などは評価の対象となっていません。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」では、においや感触など、個人差が生じる項目も含んだ結果です。

「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としました。

一方、新しい水質指標の「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点について、各調査地点の年間の総合評価ランク別に、河川のBOD平均水質との関係をまとめた結果を図-30に示す。総合評価ランクA～Dの総数はそれぞれ異なるが、Bランクと良好な評価をされた地点でもBOD平均値が比較的高い河川があることや、逆に、BOD平均値が低い河川でも、最も評価の低いDランクの地点があることがわかった。

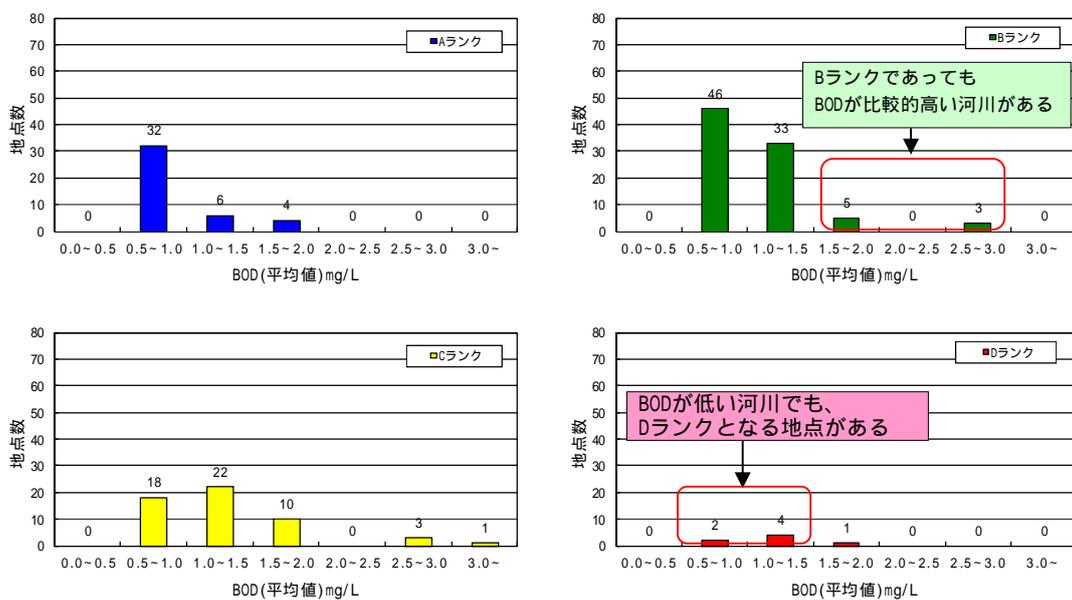


図-30 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の年間の総合評価ランク別の河川のBOD平均値と地点数

新しい水質指標（河川）（案）による総合評価の最低ランクの原因の推定  
 新しい水質指標による総合評価結果のうち最低ランクの地点について、  
 項目別評価ランクを示した（図-31(1)～図-31(3)）。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」については、総合評価ランクが最も低いDランクであった11地点のうち、旭川の大原橋、金剛川の宮橋、白川の白川代継橋では「ゴミの量」、小田川の福松橋、斐伊川の木次町水辺の楽校では「水のおい」の評価ランクが低い時期があった。その他の6地点では、透視度のみの評価ランクが低い時期があったことが原因であった。

「豊かな生態系の確保」については、総合評価ランクが最も低いDランクであった12地点のうち、肝属川水系肝属川の鹿屋小学校前ではすべての項目の評価ランクが低い時期があった。4地点では「アンモニア性窒素(NH<sub>4</sub>-N)」、6地点では「生物の生息・生育・繁殖環境」、1地点は「DO」の評価ランクが低い時期があることが原因であった。

「利用しやすい水質の確保」については、総合評価ランクが最も低いCランクであった12地点のうち、3地点では「トリハロメタン生成能」と「アンモニア性窒素(NH<sub>4</sub>-N)」、5地点では「トリハロメタン生成能」、4地点では「アンモニア性窒素(NH<sub>4</sub>-N)」の評価ランクが低い時期があることが原因であった。

表-32 総合評価の最低ランクの原因

水質指標	評価項目	地点数
人と河川の豊かなふれあいの確保	ゴミの量	3
	透視度	6
	川底の感触	0
	水のおい	2
	糞便性大腸菌	0
	計	11
豊かな生態系の確保	DO	2
	NH <sub>4</sub> -N	5
	水生生物の生息	7
	計	14
利用しやすい水質の確保	トリハロメタン生成能	8
	2-MIB	0
	ジオキシン	0
	NH <sub>4</sub> -N	7
	計	15

重複している地点もあるため、最低ランク数と表中の計は一致しない水質指標がある。

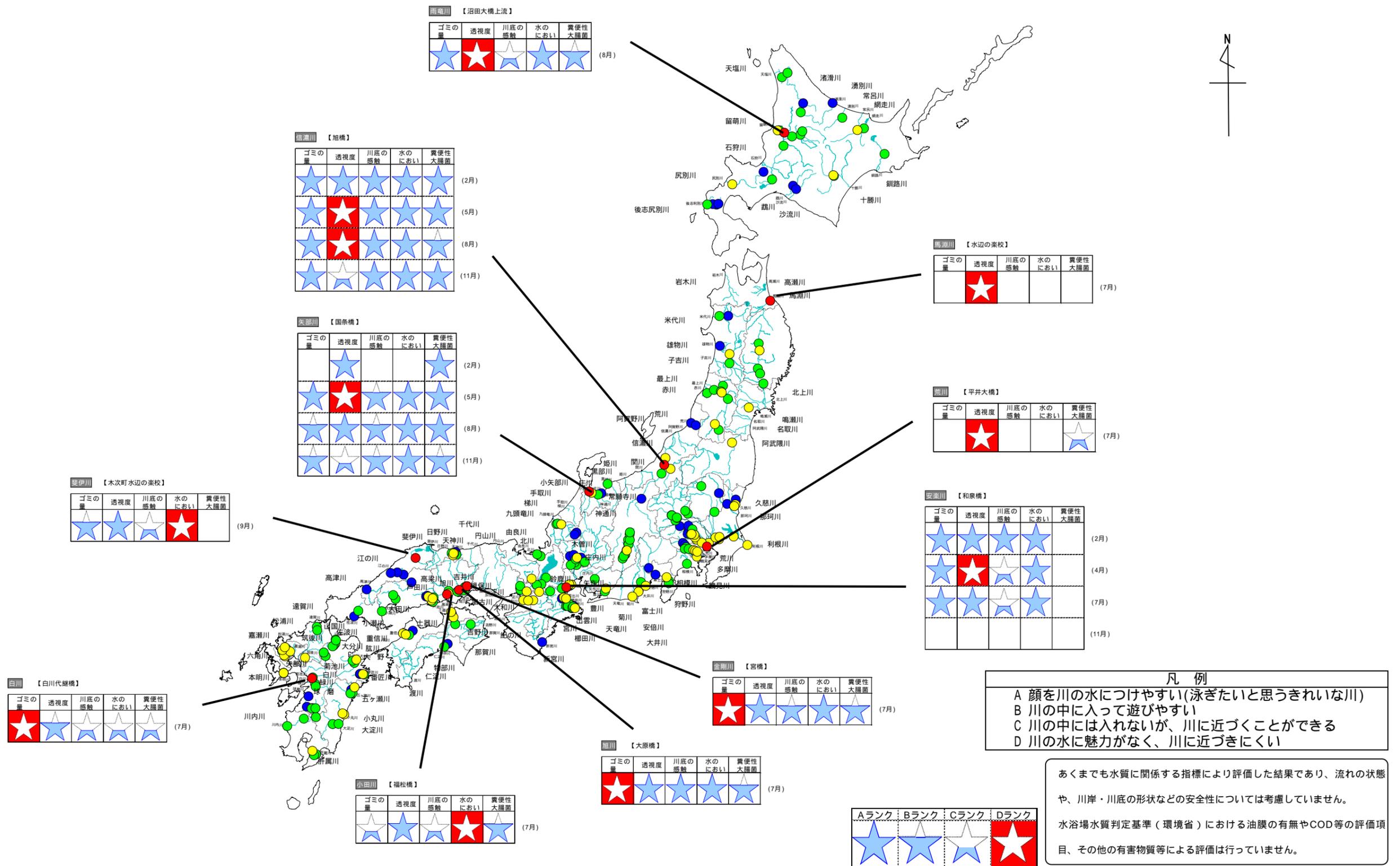


図-31(1) 平成26年「人と河川の豊かなふれあいの確保」調査結果 Dランクの要因分析



あくまでも水質に関する指標により評価した結果であり、流れの状態や、川岸・川底の形状などの安全性については考慮していません。

凡例	
● A	より利用しやすい
● B	利用しやすい
● C	利用するためには高度な処理が必要

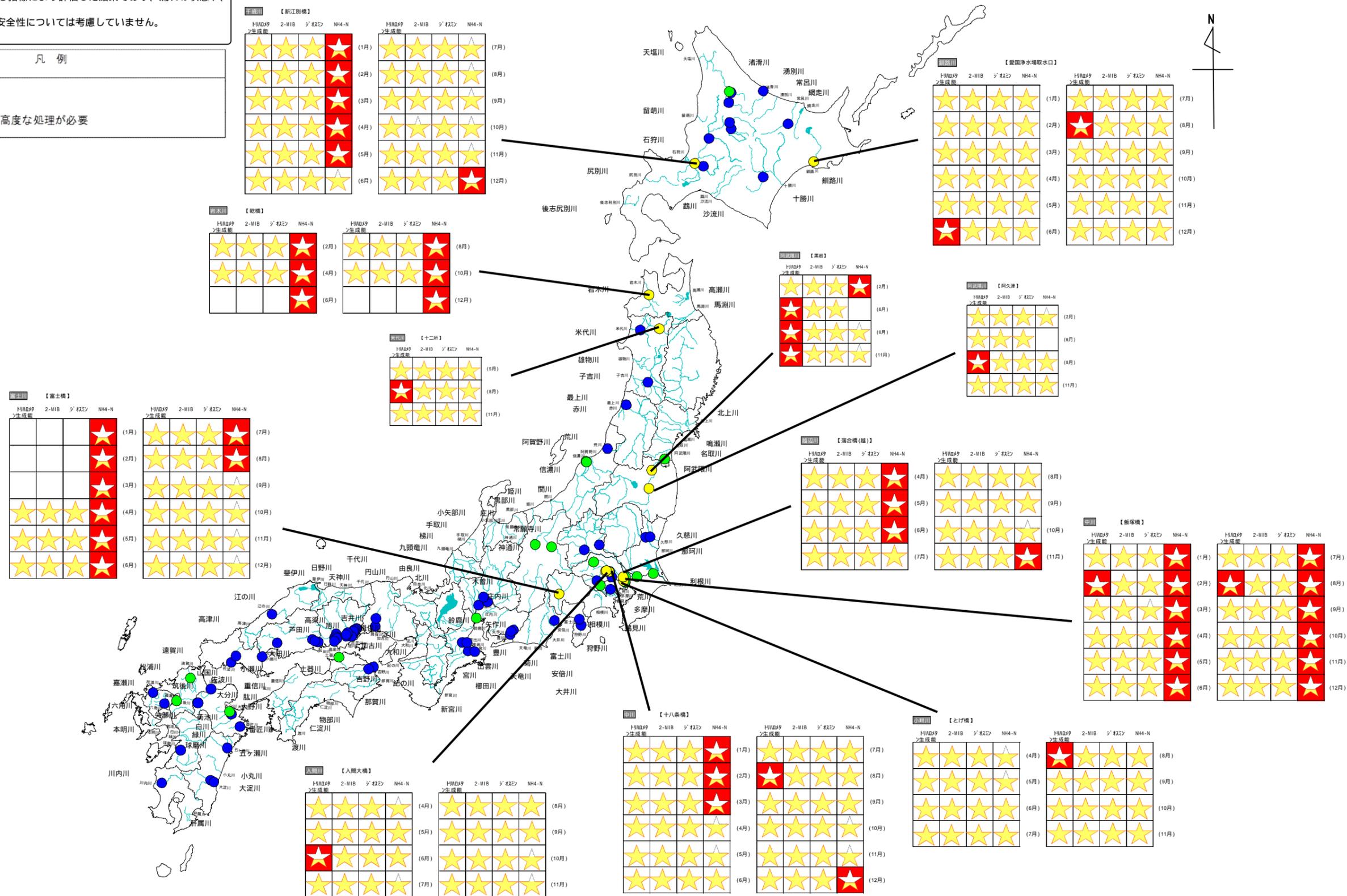


図-31(3) 平成26年「利用しやすい水質の確保」調査結果 Cランクの要因分析

## 新しい水質指標（河川）（案）による全国の調査地点のAランク評価

前述の評価は、それぞれの視点について3～5つある評価項目のうち、最も低い項目別評価ランクをその地点の総合評価ランクとしたものである。

ここでは、各視点についてAランク（最も良い評価）を得た項目数を星（ ）の数で表し、調査地点を評価した結果を図-32に示す。星の数が多いものほど、各視点の項目で高い評価を得た数が多いことを示す。なお、ここでは、全測定項目を測定した調査地点をとりまとめた対象とした<sup>注21</sup>。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」は、ゴミの量や透視度等全5項目を測定しており、全項目がAランクであると が5つになる。全調査地点のうち、全項目がAランクであった 5つは約17%（32地点/181地点）であった。

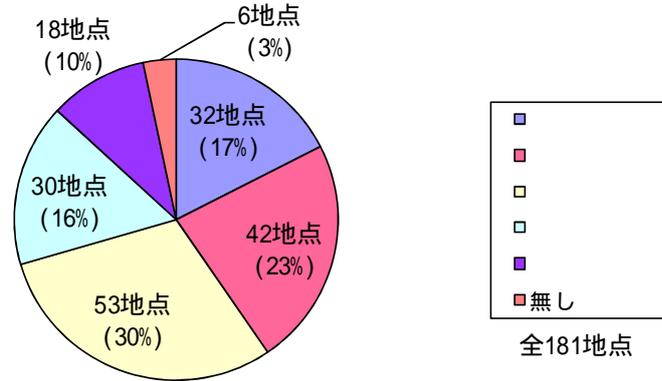
「豊かな生態系の確保」は、水生生物の生息等全3項目を測定している。全調査地点のうち全項目がAランクであった 3つの地点が最も多く約57%（90地点/159地点）であった。

「利用しやすい水質の確保」は、トリハロメタン生成能等全4項目を測定している。全調査地点のうち全項目がAランクであった 4つの地点が最も多く、約85%（107地点/126地点）であった。また、全ての地点でいずれかの項目がAランクと評価された。

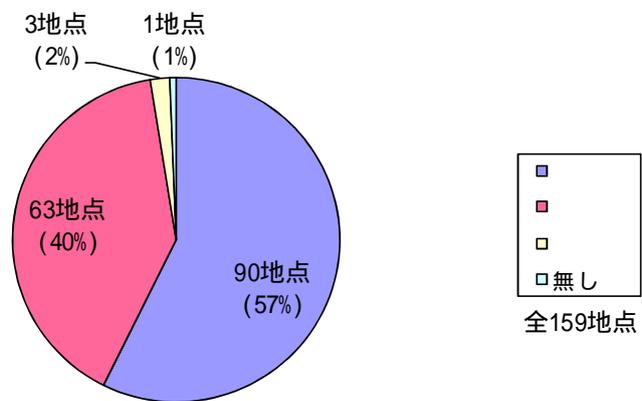
---

注21 同一地点で年間に複数回の調査が行われた場合は、調査回ごとの評価ランク（ ）の最頻値を地点の年間評価とした。最頻値が2つ以上ある場合は、 の数の少ない方を地点の年間評価とした。全測定項目を測定した調査地点をとりまとめた対象としたことから「（2）実施水系・地点数」などに示した全地点数とは異なる。

【人と河川の豊かなふれあいの確保】



【豊かな生態系の確保】



【利用しやすい水質の確保】

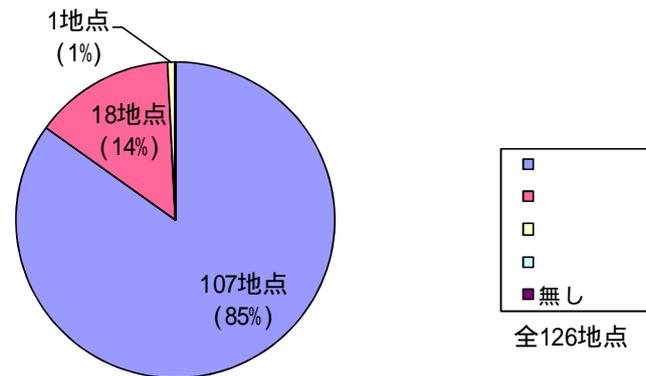


図-32 Aランクで評価された項目数を用いた調査地点とその割合

各地点について、各視点からAランクと評価された測定項目の数を の数で示した。  
 人と河川の豊かなふれあいの確保：全5項目、豊かな生態系の確保：全3項目、利用しやすい水質の確保：全4項目

(5) 「人と河川の豊かなふれあいの確保」

評価項目と評価レベル

「人と河川の豊かなふれあいの確保」は、快適性や安全性といった、人が河川とふれあう際に、河川水質が確保すべき機能を評価するための視点である。

評価項目として、「ゴミの量」「透視度」「川底の感触」「水のおい」「糞便性大腸菌群数」の5つが設定されており、このうち糞便性大腸菌群数以外の4項目は、住民と河川管理者とが協働で調査する項目である。

各評価項目の評価レベルは表-33に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて最も頻度の高かったランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-33 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の評価項目と評価レベル  
(赤枠内は住民と協働調査)

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル					地域特性項目 当該河川・地点の特性や地域住民のニーズに応じて独自に設定
			全国共通項目				糞便性大腸菌群数 (個/100mL)	
			ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水のおい		
A	顔を川の水につけやすい (泳ぎたいと思うきれいな川)		川の中や水際にゴミは見あたらない または、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である		100以下	・住民と共に独自に設定 ・文献等から設定
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない	不快でない	1000以下	
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる	1000を超えるもの	
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあっても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる		

### 年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-33に示す。

地方により内訳の違いが大きかったが、全国の合計では、Aランクの地点が約22%、A、Bランクの地点を合わせると約69%であった。地方ごとに見ると、北海道地方、中部地方、九州地方では、AランクとBランクの地点が70%以上を占めていた。

【人と河川の豊かなふれあいの確保】

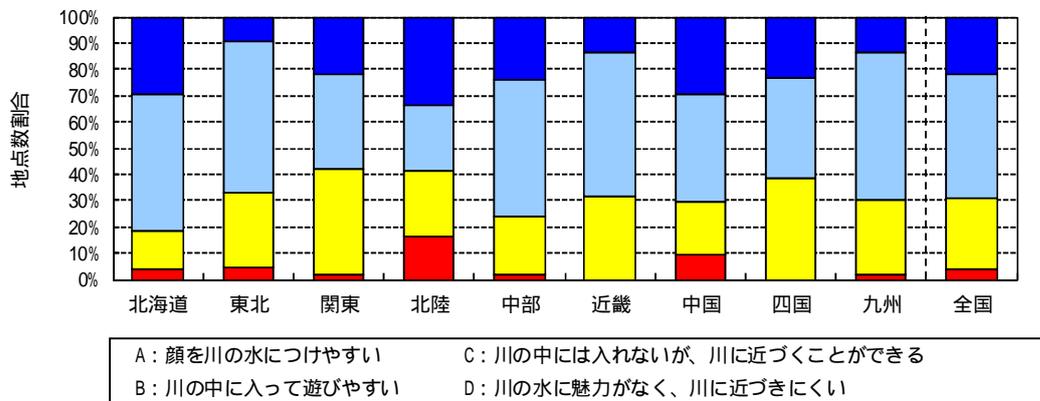


図-33 年間の総合評価ランク別割合（人と河川の豊かなふれあいの確保）

## 年間の評価項目評価ランク

5つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-34に示す。

Dランクと評価された地点の割合に着目すると、全国では、「ゴミの量」が23%、「透視度」が20%となっていた。四国地方では、「ゴミの量」、「透視度」がDランクと評価された地点の割合が50%以上となっていた。

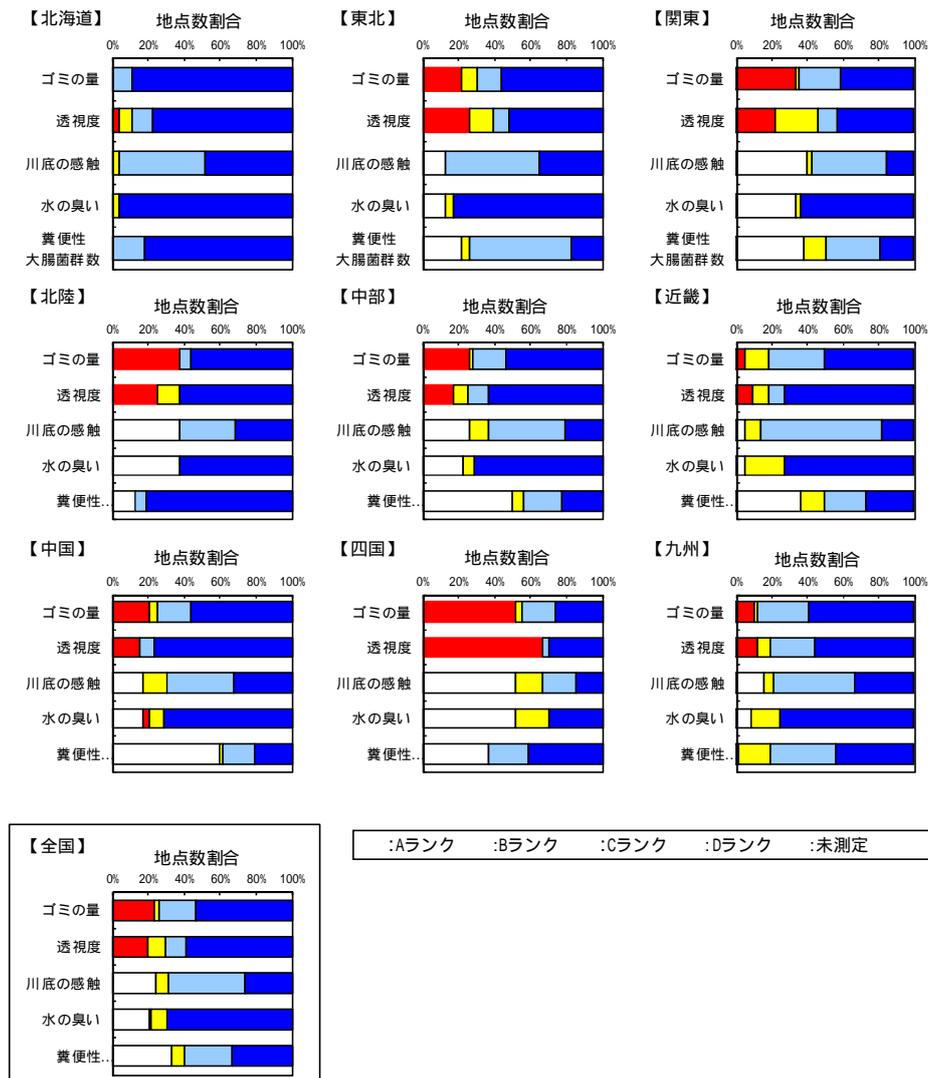


図-34 年間の評価項目のランク別割合（人と河川の豊かなふれあいの確保）

(6) 「豊かな生態系の確保」

評価項目と評価レベル

「豊かな生態系の確保」は、動植物の生息や生育、繁殖といった、河川の健全な生態系を確保する上で、河川水質が満たすべき機能を評価するための視点である。

評価項目として、「溶存酸素(DO)」、「アンモニア性窒素(NH<sub>4</sub>-N)」、「水生生物の生息」の3つが設定されており、このうち「水生生物の生息」は、住民と河川管理者とが協働で調査する項目である。

各評価項目の評価レベルは表-34 に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて最も低かったランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-34 「豊かな生態系の確保」の評価項目と評価レベル  
(赤枠内は住民と協働調査)

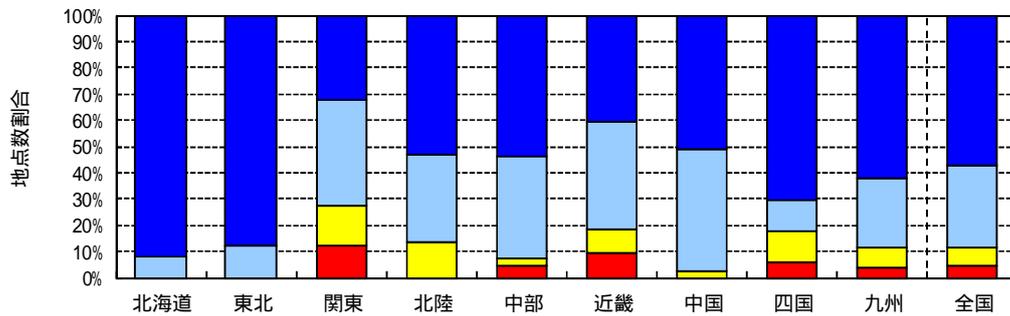
ランク	説明	評価項目と評価レベル			地域特性項目 当該河川・地点の特性や地域住民のニーズに応じて独自に設定
		全国共通項目			
		DO(mg/L)	NH <sub>4</sub> -N(mg/L)	水生生物の生息	
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等	・住民と共に独自に設定 ・文献等から設定
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	・少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等	
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	・きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等	
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	・大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等	

### 年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-35に示す。

全国的にAあるいはBランクである地点の割合が高く、全国の合計では、Aランクの地点が約57%、A、Bランクの地点を合わせると約90%であった。地方ごとに見ると、全ての地方でAランクとBランクの地点が過半数を占めていた。

【豊かな生態系の確保】



A : 生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好      C : 生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない  
 B : 生物の生息・生育・繁殖環境として良好              D : 生物が生息・生育・繁殖しにくい

図-35 年間の総合評価ランク別割合 (豊かな生態系の確保)

## 年間の評価項目評価ランク

3つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-36に示す。

全国を合わせてみると、「DO」は測定を行った約90%の地点でAランクであった。「NH<sub>4</sub>-N」と水生生物の生息は測定を行った約90%以上の地点でBランク以上であった。地方ごとに見ると、関東地方は「NH<sub>4</sub>-N」がDランクである地点の割合が多い。

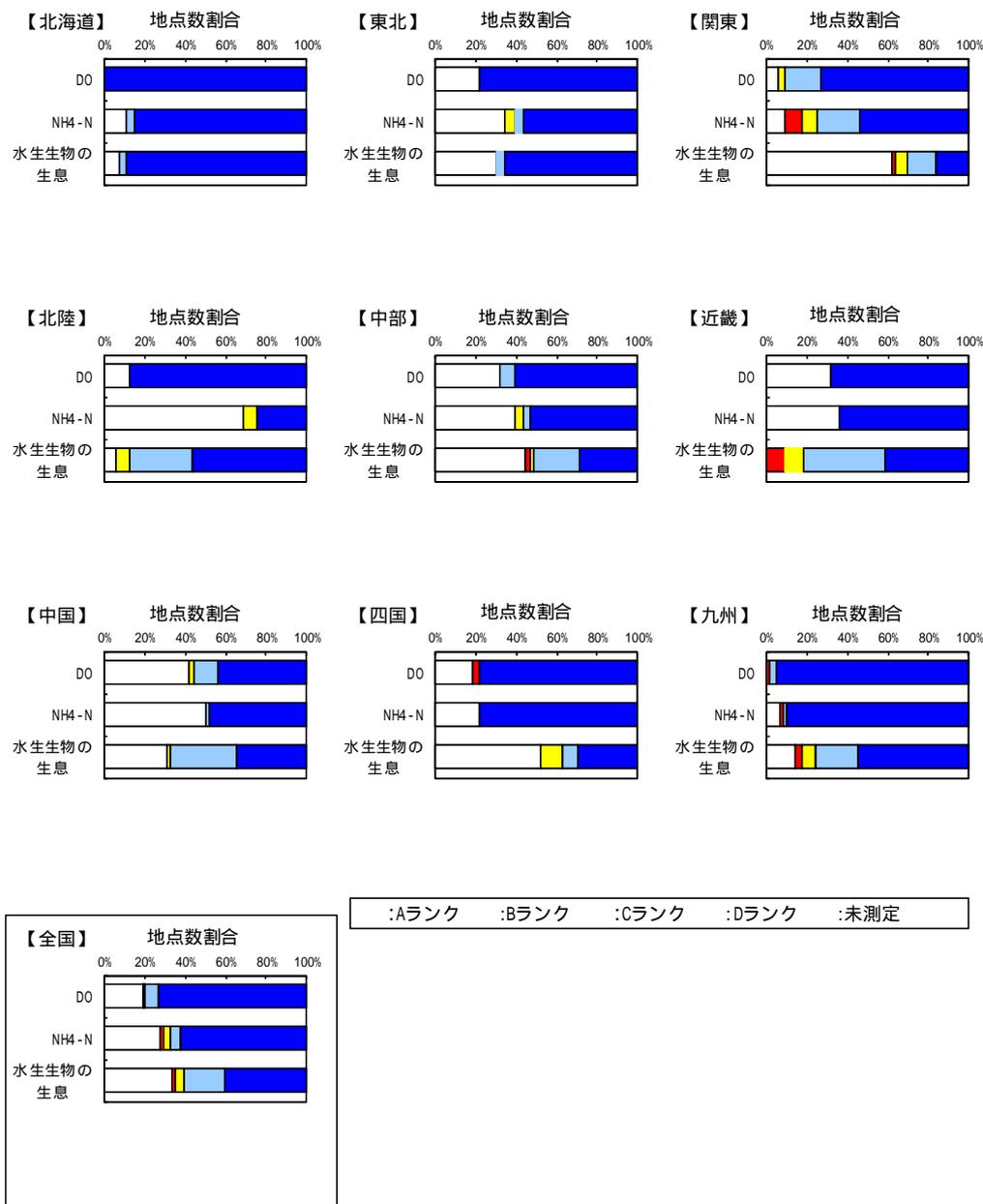


図-36 年間の評価項目のランク別割合（豊かな生態系の確保）

(7) 「利用しやすい水質の確保」

評価項目と評価レベル

「利用しやすい水質の確保」は、現状において特に水質的課題が顕著である「上水利用」に注目し、安全性や快適性、維持管理性（浄水処理管理）といった、河川水質が確保すべき機能を評価するための視点である。

評価項目として、「トリハロメタン生成能」「2-MIB」「ジオスミン」「アンモニア性窒素(NH<sub>4</sub>-N)」の4つが設定されている。

各評価項目の評価レベルは表-35に示すとおりであり、評価は調査回ごとに最も低い項目別評価ランクをその地点のその調査時の総合評価ランクとしている。1年間の調査時の総合評価ランクのうち、年間を通じて95%値に該当するランクをその地点の年間の総合評価ランクとしている。

表-35 「利用しやすい水質の確保」の評価項目と評価レベル

ランク	説明	評価項目と評価レベル				地域特性項目 当該河川・地点の特性 や地域住民のニーズに 応じて独自に設定
		全国共通項目			維持管理性	
		安全性	快適性			
		トリハロメタン 生成能 ( $\mu\text{g/L}$ )	2 - MIB (ng/L)	ジオスミン (ng/L)	NH <sub>4</sub> - N (mg/L)	
A	より利用しやすい	100以下	5以下	10以下	0.1以下	文献等から設定
B	利用しやすい		20以下	20以下	0.3以下	
C	利用するためには高度な 処理が必要	100を超えるもの	20を超えるもの	20を超えるもの	0.3を超えるもの	

### 年間の総合評価ランク

地点の年間の総合評価について、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-37に示す。

全国的にAあるいはBランクである地点の割合が高く、全国の合計では、Aランクの地点が約74%、A、Bランクの地点を合わせると約90%であった。地方ごとに見ると、全ての地方でAランクとBランクの地点が過半数を占めていた。

しかし、東北地方ではCランクの地点の割合が他の地方に比べ大きかった。

【利用しやすい水質の確保】

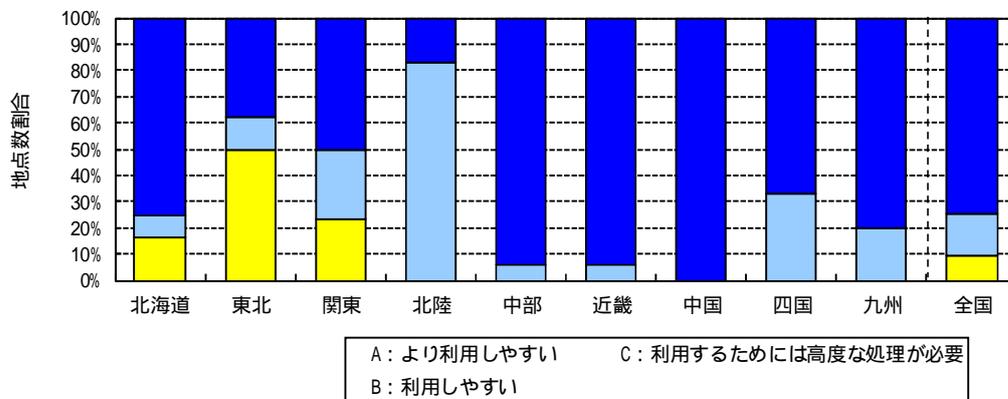


図-37 年間の総合評価ランク別割合（利用しやすい水質の確保）

## 年間の評価項目評価ランク

4つの評価項目それぞれについて、全地点数に占める各評価ランクの地点数の割合を、地方別に図-38に示す。

全国を合わせてみると、「トリハロメタン生成能」は約97%、「2-MIB」は約96%、「ジ奥斯ミン」は100%、「NH<sub>4</sub>-N」は約74%の地点でAランクであった。地方ごとに見ると、東北地方は「トリハロメタン生成能」と「NH<sub>4</sub>-N」がCランクである地点の割合が多かった。

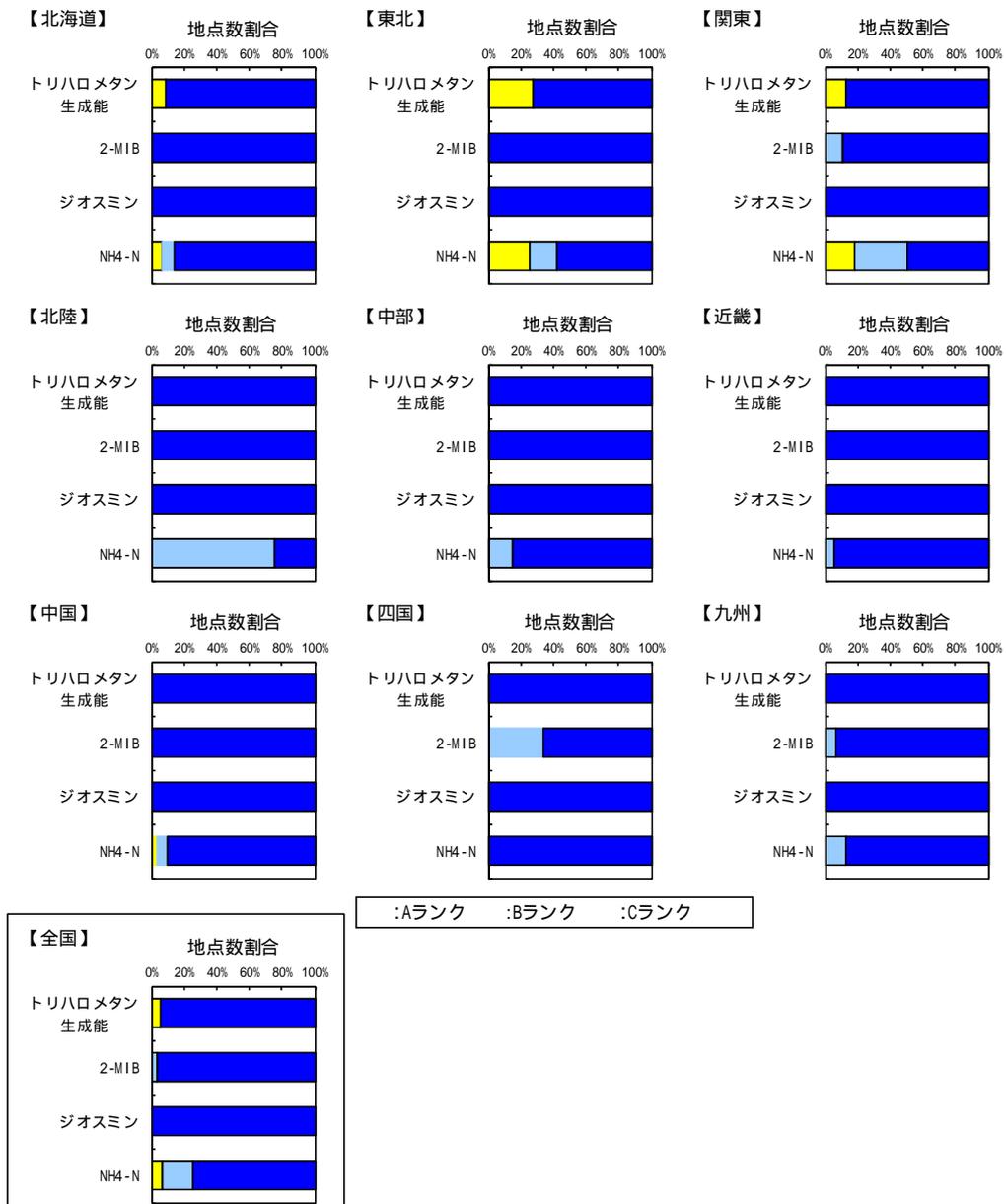


図-38 年間の評価項目のランク別割合（利用しやすい水質の確保）

(8) 「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」

指標項目

「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」は、河川の下流域、特に閉鎖性水域などの滞留水域の富栄養化を意識した水質管理を行う視点で設定されており、富栄養化状態を直接的に表す「総窒素 (T-N)」「総リン (T-P)」を指標項目として設定している。

なお、一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では、下流域へ影響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の視点では、評価項目、評価ランク及び評価レベルは定めず、今後の課題としている。

### 年間の地点平均値の濃度範囲

地点のT-N、T-P年平均値について、全地点数に占める各濃度範囲の地点数の割合を図-39に示す。

T-Nは、全国を合わせてみると、約53%の地点が年平均値1mg/以下であった。地方ごとに見ると、関東地方以外の地方では1mg/以下の地点が過半数を占めていた。逆に関東地方では、1mg/以下の地点は約5%であり、約27%の地点が3mg/を超えていた。

T-Pは、全国を合わせてみると、約45%の地点が年平均値0.05mg/以下であった。地方ごとに見ると、北海道地方、東北地方、北陸地方、中部地方、四国地方では0.05mg/以下の地点が過半数を占めていた。

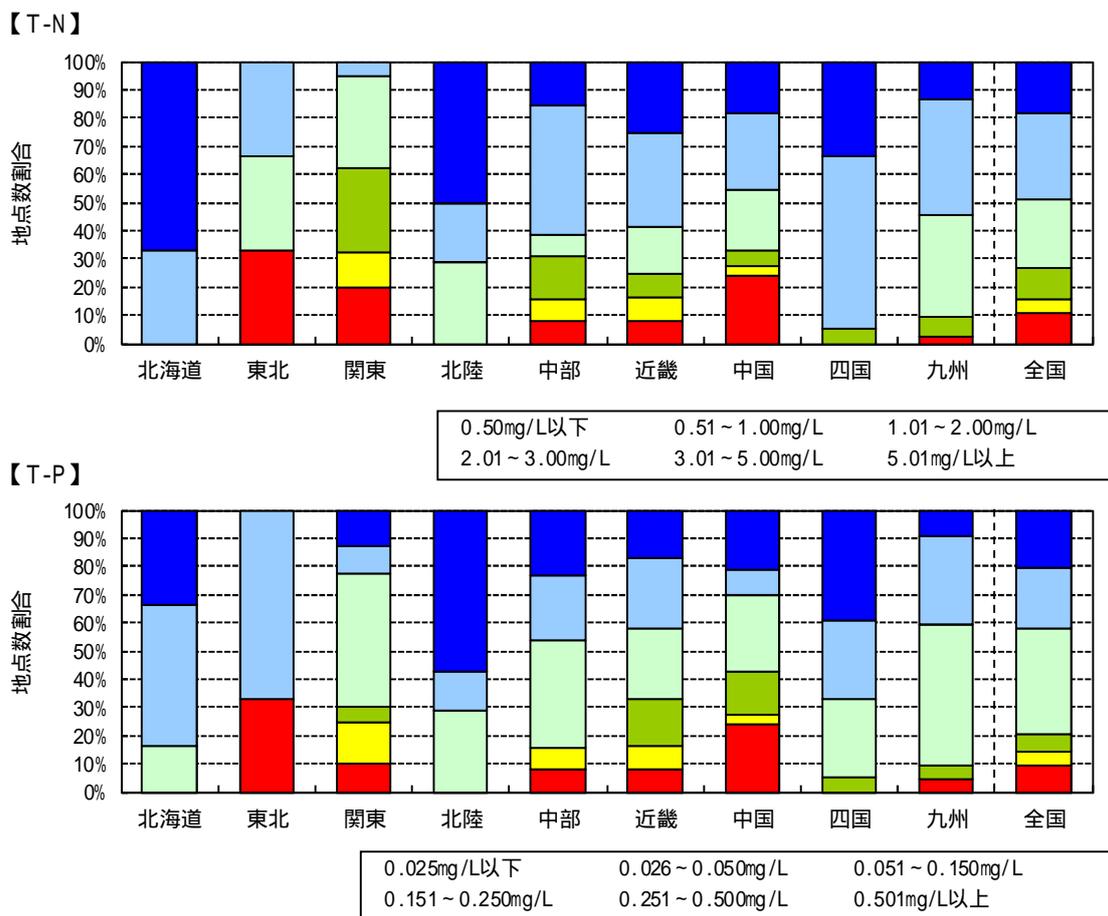


図-39 年間の地点平均値の濃度範囲別割合  
(下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保)

新しい水質指標の調査として測定された調査データのみを対象